

# 海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校  
校長室 だより  
令和4年7月19日  
第7号  
文責 校長 柳川洋史

## 3年生「わたしのしたこと」

3年生が、道徳教材をもとに考えあっていました。

あらすじ…ゆき(主人公)は、絵に色を塗ることが得意。なかよしのノン、逆に下書きの絵は得意だけど色塗りは苦手。ノンはきれいな下書きを描いたが、木の色塗りで悩んでいた。ゆきは、お手伝いのつもりで少し色を付ける。ノンは「あっ、いいの、いいの。自分でやるから。」と断りますが、ゆきは「いいのよ、友だちじゃないの。まかしたきなさいって。」と木を塗ってしまう。でも、ノンはだまったまま絵の具を片付け始めた。ゆきは「いい絵になったのに…」と思ったが…。後日、その作品が金賞となり、木の色遣いが上手だと、先生やクラスから評価されることになった。ノンは悲しそうな顔をしている。ゆきは「どうして悲しそうな顔をしているの？私がいけないの？私がしたことっていい…」と、絵を見ることができなくなった。

教材をもとに「親切とおせっかいの違い」を考えあいました。

「親切は、やさしくすることだと思います。」

「思いやりがあることが親切ではないかな。」

「おせっかいは、余計な世話を焼くこと。」

「必要もないのに手を出すことはおせっかいだと思います。」

親切とおせっかいは紙一重のところもありますが、一生懸命その違いについて思いを出し合いました。

では、ノンの行動は？自分にはそういうところがない？これからの自分たちにつながる話し合いが続けられました。



## 5年生「ガンジーのいかり」

マハトマ・ガンジー(1869～1948)。イギリスに支配されていたインド独立のために生涯をささげたので「インド独立の父」と言われる人のエピソードから、5年生が意見を出し合っていました。

あらすじ…1893年、裁判の仕事を頼まれ、弁護士としてガンジーはアフリカ南部地方へ。一等切符を持ち、汽車に乗っていたガンジーは一等車から貨車に移動することを駅員に告げられます。「インド人には一等切符は通用しない」と。抗議するガンジーに対して、警官が呼ばれました。しかし警官も力でガンジーと荷物を汽車から降ろしました。「インド人というだけで、皮膚の色が違うというだけで、こんなに乱暴な扱いを

受けるのか」とガンジーに激しい怒りがこみ上げてきました。そこからガンジーは…

エピソードから、  
「アフリカから帰りたいと思っただろうけど、自分と同じ思いをして差別されている人がいるはずだと立ち上がったところがすごい」

「差別を受けている人のために、どんなに恥ずかしくられようとも、弁護士の仕事をきちんとやり終え、訴えたことに人々が賛成するようになった」

差別や偏見をなくすために行動している人から、大切なことを学びあっていました。



## TOPIX 海蔵小のみなさんへ「道徳の勉強」

毎日の時間割に、国語や算数が入っていることが多いですね。その中で、週に1回、道徳の勉強もしてきました。

例えば、国語の授業で漢字を覚えたら、その漢字を使って文章が書けるようになります。「夏」「休」「楽」という漢字を覚えたら「夏休みは楽しみだ」という文章が書けるようになります。算数でたし算や引き算を覚えたら、買い物をするときに、買いたい物の合計金額と、持っているお金を比べることができるようになります。このように、国語や算数の勉強は、覚えたことがそのまま自分の力となり、すぐに役立つ内容が入っていることがあります。

でも、道徳はそのようにはいかないことが多いです。例えば「いじめはいけない」ということを学んでも、身近でいじめが起こったら、すぐに注意することはなかなかできません。もちろん「やめろよ」と注意できればいいのですが、そう簡単にはできません。

なぜなら「もし注意したら今度は自分がいじめられてしまうかもしれない」と、考える人も少なくないからです。「いじめはいけない」と思っている、見て見ぬふりをしてしまうのです。ときには「友だちがやっているのだから、自分もやっちゃおうか」と思うこともあるかもしれません。だから、目の前でいじめを見ても、勇気を出して注意することはとても難しいことなのです。

しかし、いじめに気付いたのに、そのまましておいたらどうでしょう。その子はずっといじめられてしまいます。「やめろよ」と言えなくても、自分のできる範囲で何かすることが大切です。例えば、いじめを見かけたら、すぐに先生に知らせたり、友だちと相談して一緒に声をかけたりすることならできるかもしれません。

このように道徳で勉強したことは、覚えたことがすぐに行動できる力にはならないのです。でも自分のできる範囲で、できることをすることが大切なのです。道徳の勉強は、自分のできることを考えていくための勉強なのです。

成績表の道徳には、1学期に勉強した道徳の中から、みんなそれぞれが考えた大切なことを、担任の先生が1つ選びました。読み返して、その時考えたことを、どのように行動につなげるのか改めて考えてみましょう。もう一度教科書を読むこともいいかもしれません。

みんなが、一つずつ行動できるようになると、友だちももっと楽しく勉強も、遊びもできるようになります。そのような海蔵小学校を、みんなで創っていきましょう



海蔵小学校ホームページ

[www.yokkaichi.ed.jp/~kaizo/cms2/htdocs](http://www.yokkaichi.ed.jp/~kaizo/cms2/htdocs)

「海蔵小学校」で検索してください。

スマートフォンでも見るができます。